

# イルカ通信



隔月1回発行  
バックナンバーは無料でダウンロードできます  
(下記参照)

2008年2月1日 No. 022

## 小笠原で暮らすイルカたち

### 「干支セトラ」

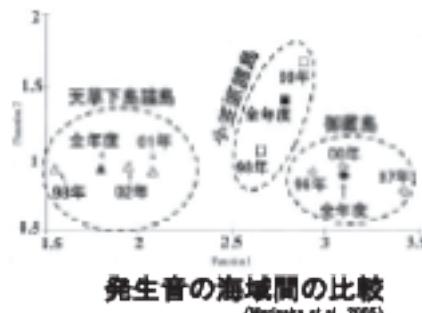
個体識別番号#27のミナミハンドウイルカは、チューヤンというニックネームがイルカ調査隊の間でつけられています。今年の干支のネズミの“チュー”という訳ではないのですが、背びれの欠損がチュー（キス）をしようとしている人の横顔に見えることから、つけられました。写真の背びれをよく見ていると、だんだんそう見えませんか。

このイルカ、2001年から毎年観察されており、古くは1996年にも確認されています。チューヤンは、子年の今年も元気に私たちの前に姿を現してくれるでしょうか。



私たち同様、イルカたちも声（音）でコミュニケーションをとっています。イルカが発するピュイーなどと聞こえる音はホイッスルと呼ばれ、会話のための音ではないかといわれています。このホイッスルを小笠原、御蔵島、天草（熊本）のミナミハンドウイルカで比較したところ、小笠原や御蔵島は大きく変化する複雑なホイッスルを発していました。さらに細かく分析すると、小笠原と御蔵島の間にも違いがみられ、まるで、方言のように海域ごとに特徴がありました。では、どうしてこのような違いができるのでしょうか。海の中のうるささに注目してみたところ、小笠原や御蔵島は静かで、天草はうるさいことがわかりました。このうるささの主因はテッポウエビが出す音で、イルカたちは小さなエビが出す音によってホイッスルを変えざるを得なかつたのではないかと考えられています。

人がうるさくって・・・とイルカたちに言われないようにしないと。



発生音の海域間の比較

(Ogasawara et al. 2006)

## クジラ展

～もっと知りたいザトウのこと～

2月7日より小笠原ビジターセンターにて「クジラ展」があります。

実物大のザトウクジラパネルは迫力ありますよ！

ぜひ、ご覧ください。



場所・小笠原ビジターセンター

開催日時・2月7日より

開館時間・おがさわら丸入港中

8:30~17:00

入館料・無料

お問合せ・04998-2-3001

東京都小笠原支庁土木課自然公園係/B10 (東京ソイ士井アートセンター内)・小笠原町一約6番地



小笠原ホエールウォッチング協会

〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町 Tel 04998-2-3215 e-mail owa@h6.dion.ne.jp

URL <http://www.ogasawara.or.jp/owa>

イルカ通信はOWAのホームページ (<http://www.ogasawara.or.jp/owa>) ちしくは <http://www.h2.dion.ne.jp/~owa/rukatsushin/rukatsushin.html> からダウンロードできます (無料)